

本研究大会では要綱配布を電子版のみによって行いますので、事前に本要綱をダウンロード、もしくはプリントアウトしていただくことを推奨します。

日本文化政策学会

第 13 回研究大会

開催要綱

事前配布版

2019 年 12 月 21 日（土）・22 日（日）

会場：さいたま市文化センター

メインテーマ

「民主主義と文化政策」

主催 日本文化政策学会

共催 公益財団法人さいたま市文化振興事業団

大会概要

日 時 2019年12月21日（土）・22日（日）
会 場 さいたま市文化センター 小ホールほか
参 加 費 会員 1,000円 非会員 3,000円 学生 1,000円
（※当日申込は各1,000円増）
主 催 日本文化政策学会
共 催 公益財団法人さいたま市文化振興事業団

参加申込／入会申込に関する問合せ先

日本文化政策学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-16-10-701

日本文化政策学会事務局（美学出版 内）

TEL：03-5937-5466 FAX：03-5937-5469

E-mail：jacpr_office@jacpr.jp URL：http://www.jacpr.jp/

発表／プログラム等に関する問合せ先

大会実行委員会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院人文社会系研究科 文化資源学研究室 小林真理研究室

TEL：03-5841-1251 FAX：03-5841-1251

E-mail：jacpr2019saitama@gmail.com

会場等に関する問合せ先

さいたま市文化センター

〒336-0024 さいたま市南区根岸 1-7-1

TEL：048-866-3171 FAX：048-837-2572

特別講演概要

1. 日 時 2019年12月22日（日）15:00～16:10
2. 場 所 さいたま市文化センター小ホール
3. テーマ 「ポピュリズム時代の「民主主義と文化政策」」
4. 登壇者 水島治郎（千葉大学大学院社会科学研究院教授）
コーディネーター 中村美帆（静岡文化芸術大学）

■開催趣旨

現在、日本の文化政策は大きな変化の流れの渦中にあります。一方では、地域におけるアーツカウンシル設置に関する検討や、文化庁の移転と組織改編、文化芸術基本法に代表される様々な関連法の制定・改正などの動きが進み、他方では、国際芸術祭が脅迫によって中止に追い込まれたり、専門家が認めた公的助成が政治的圧力で不交付にされたりすることへの危惧の声が上がっているように、文化政策の「公共」、あるいは文化をめぐる民主主義の意義そのものが問われはじめています。

今大会を共催し、会場とする、さいたま市文化センターは、大都市・東京から少し離れた生活都市の公立文化施設であり、芸術祭等をはじめとする市民の文化芸術活動のサポートにも積極的に取り組んできました。そのような場所での研究大会の開催は、文化政策の現場から投げかけられる政策のあり方や、文化をめぐる民主主義の意義を考えるために、ふさわしい機会ではないでしょうか。

今回の研究大会では、講演者として政治学者の水島治郎氏をお招きして、特に、ポピュリズムを切り口としながら、民主主義と文化政策との関係性に関する議論を提起していきます。「下」からの人々の意見や実践が、既成の権威を揺るがす影響力を持ちうる時代にあっては、市民の声が文化政策のプロセスに反映される可能性が高まる一方で、一部の市民の「電凸」（対象組織に直接電話をかけ、問い合わせをすること）や中傷・妨害などによって文化活動が困難な状況に追いやられたり、「市民の代表」であるはずの政治家の恣意的・直接的な文化への介入が起こったりするような、いわば「大衆の時代」がもたらす負の側面も見取れます。そして、このような大衆の時代の両義性、すなわちポピュリズムの時代の可能性と困難は、欧米諸国など世界各地において、近年、民主主義をめぐる大きな論点ともなっています。本講演会では水島氏に、そもそも民主主義とは何か、昨今のポピュリズムはどのようにとらえられるか、政治学の立場から文化政策や芸術と関連させてお話しいただくことで、「大衆の時代」の文化政策の意義や課題を炙り出していきます。

2020年のオリンピック・パラリンピック大会や2025年の大阪万博などの大規模な文化事業を前に、文化政策として大切なことは何か、足下の民主主義を捉え直しつつ、原点に返って考える場となることを願っています。

■講演者 水島治郎（千葉大学大学院社会科学研究院教授）

1967年東京都生まれ。ライデン大学（オランダ）客員研究員などを経て、1999年、東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。博士（法学）。甲南大学助教授、千葉大学准教授などを経て現職。専門はオランダを中心とするヨーロッパ政治史、比較政治。著書に『反転する福祉国家』（岩波書店、2012年、損保ジャパン記念財団賞）、『ポピュリズムとは何か』（中公新書、2016年、石橋湛山賞）、『現代世界の陛下たち—デモクラシーと王室・皇室』（共編著、ミネルヴァ書房、2018年）など。現在はアムステルダム都市社会史に関する著書を執筆中。2020年4月より放送大学客員教授として「ヨーロッパ政治史」講義（ラジオ放送）を担当予定。

プログラム

12月21日(土)

12:30～13:00	受付	さいたま市文化センター・小ホール入口 (1F)
-------------	----	-------------------------

13:00～15:00	企画フォーラム I	展示室、大集会室、第3集会室、多目的ホール
-------------	-----------	-----------------------

企画フォーラム I - A 「社会包摂につながる芸術活動についての評価」	展示室 (1F)
--------------------------------------	----------

企画代表者

中村美亜 (九州大学大学院芸術工学研究院准教授)

共同企画者

大澤寅雄 (ニッセイ基礎研究所)

長津結一郎 (九州大学)

宮田智史 (NPO法人ドネルモ)

村谷つかさ (九州大学)

企画フォーラム I - B 「文化政策と表現規制／「多様性」の限界と政府言論・専門家の職責」	大集会室 (3F)
--	-----------

企画代表者

作田知樹 (Arts and Law ファウンダー)

共同企画者

藤森純 (弁護士、東京スプラウト法律事務所)

企画フォーラム I - C 「事業計画のロジックモデルを作成するワークショップ - ロジックモデル作成の要点とWS進行の仕方 -」	第3集会室 (3F)
---	------------

企画代表者

佐々木亨 (北海道大学教授)

共同企画者

源由理子 (明治大学専門職大学院ガバナンス研究科)

佐久間大輔 (大阪市立自然史博物館)

北村淳一（三重県総合博物館）

ほかミュージアム評価研究会のメンバー数名

企画フォーラムⅠ-D「ダウンロード違法化の対象範囲の見直し」の議論から何を学ぶべきか？」

多目的ホール（4F）

企画代表者

小島立（九州大学大学院法学研究院准教授）

15:20～17:20 開会挨拶／特別企画

小ホール

主催者・共催者代表 開会挨拶

特別企画「ICCPR2020 京都キックオフ・プログラム」

1. 日 時 2019年12月21日（土）15:20～17:20

2. 場 所 さいたま市文化センター小ホール

3. テーマ 「民主主義と文化政策：東南アジアの現在」

4. 登壇者

アヌパマ・セカー（Anupama SEKHAR），アジアヨーロッパ財団（ASEF）

スニサ・ジャナモハナン（Sunitha JANAMOHANAN），アジア大洋州文化教育研究ネットワーク（ANCER）

ジェニファー・リー（Jenifer LEE），メコン・カルチュラル・ハブ（MCH）

モデレーター：谷地田未緒（東京藝術大学）

ICCPR2020 京都への招待：河島伸子（同志社大学／ICCPR2020 京都実行委員長）

* 日英通訳つき * 登壇者は変更になる可能性があります。

15:20～17:20 企画フォーラムⅡ

展示室、大集会室

企画フォーラムⅡ-A「アート界におけるジェンダー平等を促進する教育のあり方について」

展示室（1F）

企画代表者

竹田恵子（東京大学大学院情報学環特任准教授／EGSA JAPAN代表）

共同企画者

高橋かおり（立教大学社会情報教育研究センター）

企画フォーラムⅡ－B「阪神・淡路大震災後に文化政策は変わったのか？－「災間」の文化政策を
目指して(仮)」 大集会室(3F)

企画代表者

佐藤李青（アーツカウンシル東京プログラムオフィサー）

共同企画者

小川智紀（認定NPO法人STスポット横浜理事長）

田中真実（認定NPO法人STスポット横浜事務局長）

戸館正史（愛媛大学社会共創学部助教／松山ブンカ・ラボ ディレクター）

17:40～19:10	懇親会	多目的ホール(4F)
-------------	-----	------------

懇親会会場 さいたま市文化センター 多目的ホール

参加費 会員・非会員 5,000円 学生 3,000円

※要事前申し込み

19:30～21:00	若手フォーラム意見交換会	和室(3F)
-------------	--------------	--------

「若手フォーラム意見交換会 文化政策若手研究者のネットワークづくりに向けて」

企画統括 吉田隆之、朝倉由希

日時：12月21日（土）19:30-21:00

場所：和室（参加人数によって変更の可能性あり）

対象：大学院生、大学院修了者～40歳前後の会員

企画概要：文化政策学会では、若手研究者のサポートを充実させたいと考えています。今回の学会では、若手会員の皆さまのニーズ把握のための意見交換会を実施します。こんな企画やこんな場があると良いな…など、自由に討論していただき、その結果を今後の企画に反映したいと思います。また、若手同士の気軽な情報交換や交流の場としてもご活用いただければと思います。

若手会員の皆さま、ぜひお集まりいただき、率直なご意見をお聞かせください！

12月22日(日)

8:40～9:00 受 付	小ホール入口 (1F)
---------------	-------------

9:00～11:00 企画フォーラムⅢ	多目的ホール、展示室
---------------------	------------

企画フォーラムⅢ－A「アートボランティアのゆくえ」 展示室 (1F)

企画代表者

藤原旅人（九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ）

共同企画者

上野正也（神奈川大学工学部建築学科特別助教）

金嬪娜（韓国外国語大学日本研究所招聘研究員）

小坂有資（香川大学大学教育基盤センター特命講師）

三宅美緒（北海道大学大学院文学院文化多様性論講座博物館学研究室博士後期課程）

向坊衣代（co-art-lab代表）

企画フォーラムⅢ－B「自治体文化政策における文化財保護と活用のあるべき姿を問う」 多目的ホール (4F)

企画代表者

中川幾郎（帝塚山大学名誉教授）

共同企画者

佐古和枝、関西外国語大学外国語学部教授

9:00～11:00 分科会Ⅰ	小ホール、大集会室、第3集会室
① 9:00～9:35 ②9:40～10:15 ③10:20～10:55	

分科会Ⅰ－A「芸術文化とコミュニティ1」 小ホール (1F) 座長：吉本光宏（株式会社ニッセイ基礎研究所） 副座長：川井田祥子（鳥取大学）

発表者

① 上野正也（神奈川大学工学部建築学科特別助教）

地区再生まちづくりにおけるアーティスト・イン・レジデンスに関する考察 一横浜市中区
黄金町地区を対象として

② 中山博晶（九州大学大学院修士課程2年）

ホームレスの表現活動を通じた社会包摂の理念と実際ー釜ヶ崎芸術大学を事例にー

③ 川村陶子（成蹊大学教授）

共生社会のアート：中央線沿線のまちとアール・ブリュット

分科会ⅠーB「文化政策と国際関係1」

大集会室（3F）

座長：菅野幸子（AIR Lab） 副座長：阪本崇（京都橘大学現代ビジネス学部）

発表者

① 陳淑娟（同志社大学大学院経済学研究科博士後期課程経済政策専攻1年生）

文化政策学の視点で中国文化政策に関する研究

② 新地真之（名古屋大学大学院法学研究科学術研究員）

インドネシア2017年法律第5号（文化振興法）の制定と同国文化政策の転換

③ 大野はな恵（東京大学学術研究員）

スコットランドにおける文化政策の展開とその特徴

分科会ⅠーC「文化・メディア産業」

第3集会室（3F）

座長：河島伸子（同志社大学） 副座長：岡田智博（青山学院大学）

発表者

① 山田直子（放送大学大学院文化科学研究科修士課程2年）

メディア産業とアートマネジメント

② 李知映（成蹊大学文学部客員准教授）

エンターテインメント都市、ラスベガスの成功戦略；公演コンテンツの側面から

③ 石垣尚志（東海大学文化社会学部准教授）

文化政策としての映画館：ノルウェーの映画・映画館政策と市営映画館についての調査研究

11:20～13:20 分科会Ⅱ

展示室、小ホール、大集会室、第3集会室、多目的ホール

① 11:20～11:55 ② 12:00～12:35 ③ 12:40～13:15

分科会ⅡーA「協働」

展示室（1F）

座長：藤野一夫（神戸大学） 副座長：長津結一郎（九州大学）

発表者

① 熊田知晃（明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻博士後期課程2年）

音楽祭における文化政策の専門性に関する一考察ー霧島国際音楽祭と草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルの40周年記念事業の比較を通じてー

② 北岡慶子（公益財団法人静岡県文化財団）

県立文化施設における文化ボランティアに関する一考察ーグランシップサポーターを事例にー

③ 楊天帥（東京藝術大学国際芸術創造研究科博士2年）

アートプロジェクトにおける外国人アーティストの単方向的な交流という傾向性～大地の芸術祭・香港ハウスの「今日の糧を我に与えん」を事例に～

分科会Ⅱ－B「芸術文化とコミュニティ2」

小ホール（1F）

座長：伊藤裕夫（元富山大学）、副座長：大澤寅雄（株式会社ニッセイ基礎研究所）

発表者

① 國盛麻衣佳（小田原短期大学）

近代産業都市における文化活動の普及－旧産炭地三池における西洋音楽活動を通じたネットワークとコミュニティ形成を中心に－

② 中村まい（お茶の水女子大学、博士後期課程1年）

都市部に根差した民俗芸能の社会的機能－阿波踊りの企業連の多様性に着目して－

③ 井内千紗（国際短期大学専任講師）

文化的多様性が舞台芸術のエスニシティ表象に与える影響について－ブリュッセルの王立フランドレン劇場を事例に－

分科会Ⅱ－C「文化政策と国際関係2」

大集会室（3F）

座長：関鎮京（北海道教育大学） 副座長：小島立（九州大学）

発表者

① 佐野智彦（東京大学大学院人文社会科学系研究科文化資源学専攻文化経営学専門分野修士2年）

第二次世界大戦後初期オーストリアにおける文化政策と国民形成

② 井原麗奈（静岡大学地域創造学環准教授）

植民地の公会堂における特徴の分析と催事の享受の実態について

③ 齋藤梨津子（シンガポール国立大学博士課程4年）

シンガポールにおける第二次世界大戦の記憶装置と日本人の遭遇

分科会Ⅱ－D「文化財1」

第3集会室（3F）

座長：井上敏（桃山学院大学） 副座長：土屋正臣（城西大学）

発表者

① 森屋雅幸（昭和女子大学現代教育研究所研究員）

文化財保護政策におけるコミュニティ施策－文化財愛護地域活動の分析を中心に－

② 信藤勇一（大阪市立大学大学院 都市経営研究科修士課程2年（都市政策・地域経済コース）

「歴史文化財遺産活用とまちづくりに貢献するヘリテージマネージャー職能からの考察－文化財保存と活用の価値観点から－」

③ 馬場憲一（法政大学・名誉教授）

住民参画の文化財保護政策における制度的課題

発表者

- ① 田中淳士（会社員・東京大学大学院人文社会系研究科修士課程修了生）

日本における自治体文化行政の展開—松下圭一の文化行政論の現代的意義—

- ② 渡部春佳（津田塾大学非常勤講師）

地方議会における劇場・音楽堂等についての議論の変遷に関する研究

- ③ 岡田智博（青山学院大学非常勤講師）

わが国の地域における文化政策の発展形態に関する考察～沖縄県石垣市における創造都市推進におけるスタートアップの過程を例として

13:20～14:20	休 憩
-------------	-----

13:20～14:20	若手ポスターセッション	コアタイム	小ホールホワイエ（1F）
-------------	-------------	-------	--------------

14:20～14:50	総 会	展示室（1F）
-------------	-----	---------

15:00～16:10	特別講演	小ホール（1F）
-------------	------	----------

特別講演 ポピュリズム時代の「民主主義と文化政策」

1. 日 時 2019年12月22日（日）15:00～16:10
2. 場 所 さいたま市文化センター小ホール
3. テ ー マ 「ポピュリズム時代の「民主主義と文化政策」」
4. 登 壇 者 水島治郎（千葉大学大学院社会科学研究院教授）
コーディネーター 中村美帆（静岡文化芸術大学）

16:30～18:30	分科会Ⅲ	展示室、小ホール、大集会室、第3集会室、多目的ホール
-------------	------	----------------------------

① 16:30～17:05	② 17:10～17:45	③ 17:50～18:25
---------------	---------------	---------------

分科会Ⅲ－A「仲介者」

展示室（1F）

座長：片山泰輔（静岡文化芸術大学） 副座長：熊倉純子（東京藝術大学）

発表者

- ① 岩井千華（桜の聖母短期大学専任講師）

司書資格取得および図書館の現状に関する考察

- ② 豊田佳子（東京大学文化資源学修士2年）

芸術文化活動による企業の社会価値創造 ～資生堂ギャラリーの活動を中心に～（仮）

③ 佐藤良子（昭和音楽大学非常勤講師）

アートマネジメント教育に係る国際組織の機能：教育プログラム及び教育者の支援と啓発

分科会Ⅲ－B「ミュージアム」

小ホール（1F）

座長：太下義之（文化政策研究者、独立行政法人国立美術館理事）

副座長：長嶋由紀子（東京大学大学院人文社会系研究科研究員）

発表者

① 平田陽子（東京大学大学院人文社会系研究科修士2年）

美術における形態の多様化がもたらす美術館のコレクション制度の変容

② 高久彩（九州大学地球社会統合科学府博士課程2年）

「博物館」における埋蔵物の収集 ―教育博物館との比較を通じて―

③ 立石信一（国立アイヌ民族博物館運営準備室学芸主査）

アイヌ政策における当事者、自治体の関係と表象の史的研究 ―ポロトコタンの設立を事例として―

分科会Ⅲ－C「文化政策と国際関係3」

大集会室（3F）

座長：川村陶子（成蹊大学） 副座長：藤井慎太郎（早稲田大学）

発表者

① 嶋根智章（独立行政法人国際交流基金総務部システム管理課長）

対外文化政策の実践例に関する一考察 ― ジャポニスム2018の現場から

② 佐々木啓介（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻修士2年）

トルコ国際協力調整庁（TİKA）による対外文化財政策

③ 谷地田未緒（東京芸術大学国際芸術創造研究科助教）

マレーシアにおける「文化の権利」：2017年国連人権理事会特別専門家による報告書の分析

分科会Ⅲ－D「文化財2」

第3集会室（3F）

座長：須田英一（法政大学） 副座長：鬼木和浩（横浜市役所）

発表者

① 土屋正臣（城西大学）

1970・80年代の文化行政に対する文化財保護行政の立ち位置に関する試論 ―埼玉県を事例として―

② 金奉洙（東京芸術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程2年）

文化芸術施設としての近代産業遺産：保存と活用に関する日韓の事例比較研究

③ 井上敏（桃山学院大学経営学部准教授）

日本の文化財政策における「風土記の丘」構想の評価について

分科会Ⅲ－E「地域と文化政策」

多目的ホール（4F）

座長：松本茂章（静岡文化芸術大学）

副座長：李知映（成蹊大学文学部客員准教授）

発表者

① 三谷八寿子（アーバンデザインスタジオLLC）

（仮）「地域ルールと景観誘導に関する考察－港区S地区の街並み景観づくりの事例から－」

② 真野友理子（静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科文化政策専攻2年）

創造都市政策としてのアーティスト・イン・レジデンスの評価のあり方－浜松市鴨江アートセンターでの試行を踏まえて－

③ 古池嘉和（名古屋学院大学現代社会学部教授）

伝統工芸産地の文化資源ストック～輪島と井波の比較から～

■研究発表者へのお願い

- (1) 会場でのコピーサービスはいたしかねます。分科会・企画フォーラムで報告される方は、最低 40 部以上のレジュメの事前準備をお願いします。
- (2) 分科会・企画フォーラム会場の Wi-Fi 環境はありませんのでお気をつけください。
- (3) 発表者は、報告される会場に開始 10 分前までにお集まりください。分科会では座長・副座長による簡単な打ち合わせ等が行われる場合があります。
- (4) 機器を使用される方は特に次の点にご注意ください。
 - ① 開催会場では機器の動作確認等含め、できるかぎり発表者への協力をいたしますが、機器操作等については報告される方の自己責任にてお願い致します。特に、機器を使われる方はコンピュータ関連の接続や、データ形式等にご注意ください。万が一、機器が作動しない場合に備えて、印字原稿やスライド印刷資料をご用意頂く等の方策を取っていただくことをお勧めします。
 - ② 機器を利用される発表者は、開始 15 分前までに会場にお集まりください。各自、機器使用の準備、確認などをお願いします。

その他、会場ごとの注意点は以下のとおりです。

[分科会・企画フォーラムに関する使用機材と、集合時間に関するご注意]

- (1) 分科会・企画フォーラム会場には、①データ・プロジェクタ、②RGB ケーブル（ミニ D-Sub 15 ピン・コネクタ）を用意してあります。その他、発表に必要な機材やコネクタ等は、各自ご用意ください（PC は用意してありませんのでご注意ください）。
- (2) 発表時は、開始時間の 10 分前までに必ずお集りください。

[若手ポスターセッションに関する使用機材と、集合時間に関するご注意]

- (1) 発表方法
 - ① コアタイムは、必ずご自身のポスターの前で発表して下さい（コアタイムは、12 月 22 日（日）13:20～14:20 です）
 - ② 音の出る発表資料は不可となります。
- (2) ポスター仕様
 - ① ポスターサイズは、A1 縦一枚内に収まるもの。
 - ② 1 m 離れても判読できる程度の文字の大きさ。
 - ③ 各人が印刷の上、当日ご持参下さい。

■懇親会・昼食・宿泊

(1) 懇親会は会場内で行われ、予約制となります。事前申し込みをお願いします。

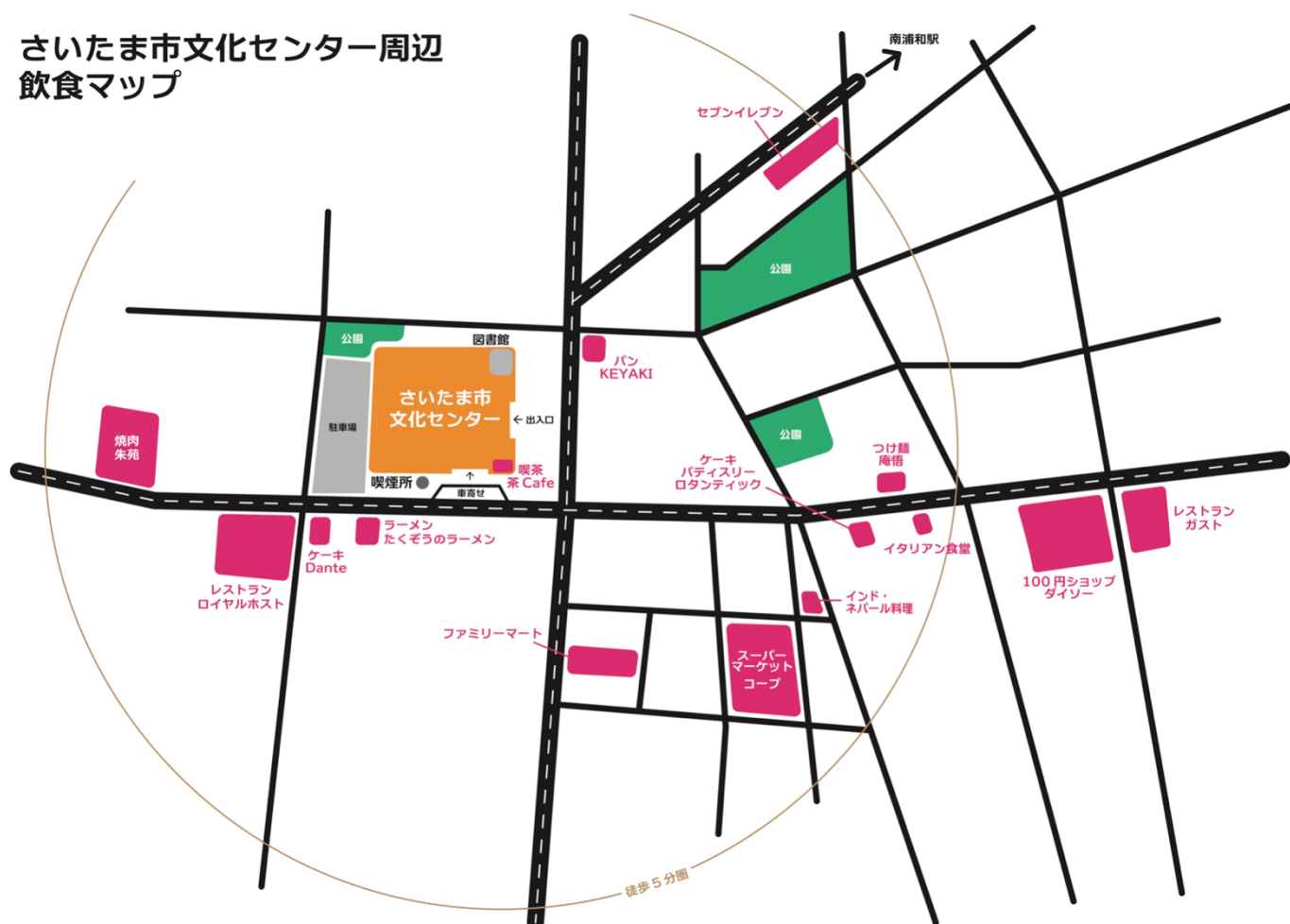
懇親会会場 さいたま市文化センター 多目的ホール

参加費 会員・非会員 5,000円 学生 3,000円

(2) 昼食は近隣のコンビニエンス・ストア等をご利用ください。近隣にも昼食を取れる食堂やファミリーレストラン等があります。下記、地図もご利用ください。なお、分科会、フォーラム会場内は飲食禁止です。休憩・飲食には、1階ラウンジか3階和室をご利用ください

(3) 宿泊、列車・飛行機チケット等についての斡旋は行っておりません。お早めの予約をお願いいたします。

さいたま市文化センター周辺 飲食マップ



■アクセス

電車でお越しの方

【南浦和駅をご利用の場合】

J R 京浜東北線・武蔵野線 南浦和駅西口より徒歩 7 分

【浦和駅西口からバスをご利用の場合】

〈国際興業バス〉

7 番乗り場 蕨駅西口行き乗車約 10 分「六辻」下車 徒歩約 10 分

駐車場について

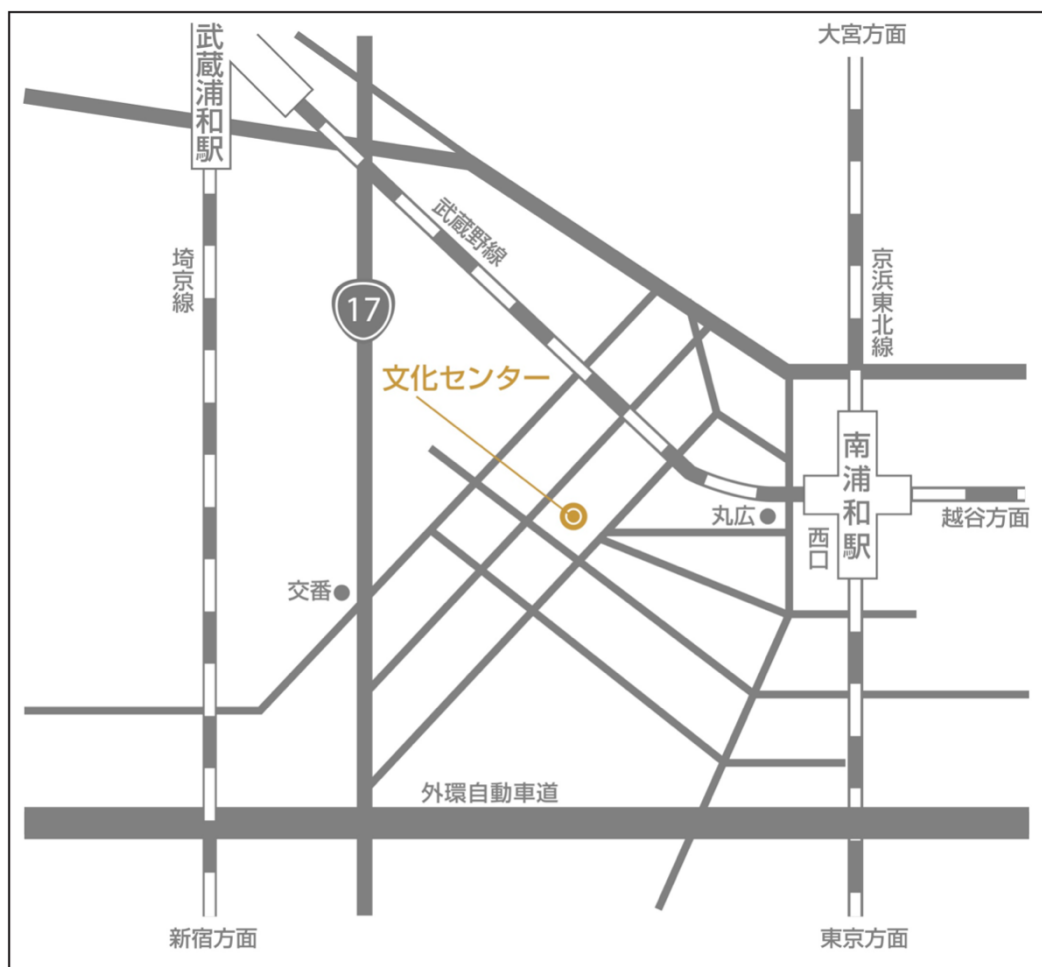
137 台（地上 85 台／地下 52 台 高さ 2.1m）

最初の 1 時間以内は無料。

最初の 1 時間超から 1 時間 30 分以内は 220 円

以後 30 分（30 分に満たないときは 30 分とします）ごとに 100 円を加算します。（※消費税別）

※駐車場に限りがございますので、公共の交通機関をご利用ください。



< 文化センター >

〒336-0024 さいたま市南区根岸 1-7-1 / TEL.048-866-3171